原っ子

小郡市立大原小学校　学校だより（第17号）
令和8年10月14日　児童数 399名
重点目標　「自ら気づき、考え、ともに表現する子どもの育成」
校長　福永　隆二

児童会活動「あいさついっぱいの学校に」

昨日から、後期がスタートしました。後期には、原っ子運動会があります。運動会に向けての練習も始まっているようです。子どもたちが目標をもって取り組むよい機会としたいと思います。

さて、小郡市教育委員会では、10月を「いじめ撲滅強調月間」と設定し、小郡市いじめ問題対策連絡協議会及び小郡市いじめ問題等対策委員会と連携して、いじめの撲滅に向けた取組を推進しているところです。学校においても、「いじめ防止基本方針」に基づき、アンケートの実施や、いじめ対策委員会の実施などを通して、早期発見・早期対応に努めています。しかし、生活経験やそれに基づく価値観が異なる子どもたちが、集団で様々な関わり合いをする中では、いじわるや嫌がらせをしたりされたりすることは、成長過程で起こり得ることでもあります。

そこで、児童会活動では、楽しい学校にするために「あいさつ運動」を実施してくれています。運営委員会の子どもたちが、毎週水曜日、元気なあいさつをして朝登校してくる下級生達を迎えます。

このような取組を通して、子どもたちに「人への優しさ」をはぐくんでいきたいと思います。

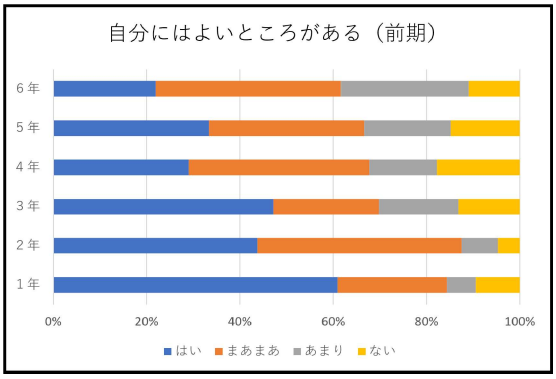
ご家庭でも、平素から、友人関係について子どもたちと話す機会をもっていただきたいと願っています。また、お子様の様子で気になること心配なことがあれば遠慮なく学校にご相談ください。

自己肯定感を高めるために

前期が終わる前に、子どもたちへ重点目標の達成状況を把握するために、アンケートを実施しました。

「学校が楽しいですか」の質問に対して、「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた児童が、全校で92.7%でした。多くの子どもたちが「楽しい」と感じてくれているのは、よいことですが、一方、「勉強が分からなくて楽しくない」と答えている子どもたちもいます。「わかる・できる」を実感できる授業づくりに後期も取り組んでまいります。

「自分にはよいところがある」の質問に対して、「ある」「まあまあある」と肯定的に答えた児童は、全校で72.9%でした。昨年に比べて低くなっており、学年によっては、「ない」と答えている児童もいます。特に子どもたちは、他者から評価してもらうことで気づくことがあります。学校でもよいところを認めて、励ましていきますので、ご家庭でも、子どもたちのよいところを見つけて、自信をもたせる言葉かけをお願いいたします。



【自己肯定感に関するアンケート結果】

愛校作業のご協力　ありがとうございました

10月3日（土）、本校職員と、PTA役員の皆様、ボランティアで来ていただいた保護者の皆様と一緒に、運動場の草取りの作業を行いました。朝から暑いなかでの作業でしたが、おかげさまできれいにすることができました。さらに、PTA役員の皆様が、やきそばや揚げパン、ピザまんを作ってくださり、作業後のみなさんに振る舞っていただきました。保護者の皆様お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。